

- | | |
|---|------------|
| 1. 2011 年度前期の国際学会発表奨励賞候補者の応募について | 武田雅俊 (理事長) |
| 2. 「2011 年度日本生物学的精神医学会アジア若手交流プログラム」公募のご案内 | 武田雅俊 (理事長) |
| 3. 第 33 回日本生物学的精神医学会 | 武田雅俊 (理事長) |
| 4. 「日本生物学的精神医学会 (JSBP) 会員増加キャンペーン」のお知らせ | 武田雅俊 (理事長) |

2011 年度前期の国際学会発表奨励賞候補者の 応募について

2011 年前期 (4 月から 9 月) に開催される国際学会を対象として下記の要領で募集を行いますので奮って応募 (推薦) して下さい。なお、評議員の先生方には推薦用紙が送付されます。

記

1. 規定は以下の通り
2. 推薦用紙, 評価の参考となるもの (抄録, サークュラー, 学会プログラムなど) 8 部を同封し, 下記事務局宛ご送付下さい。
3. 応募締切日 2011 年 6 月 30 日 (木)

以上

送付先: 〒 112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13-4F
一般社団法人学会支援機構内
日本生物学的精神医学会事務局
理事長 武田 雅俊

6. 選考

- 1) 研究奨励賞を選考するために本学会内に選考委員会を設ける。
- 2) 選考委員は理事・評議員より理事会で選出する。委員長は委員の互選により決定する。委員は 6 名とし任期は 2 年とする。再任は妨げない。
- 3) 選考対象者と同一講座 (大学以外の機関はこれに準ずる部局) に所属する選考委員は, その年度の選考には加わらないものとする。
- 4) 選考委員会は受賞者を決定し, 委員長は当該者なしの場合も含めて理事長に報告する。委員長は年会の際に開催される理事会に選考経緯および結果を, また評議員会に選考結果を報告する。

付 則 (1) 本規約は 1999 年 4 月 22 日より施行する。

「2011 年度日本生物学的精神医学会 アジア若手交流プログラム」公募のご案内

日本生物学的精神医学会国際学会発表奨励賞規定

1. 設置 日本生物学的精神医学会は規定により研究奨励賞 (国際学会発表制度) を設ける。
2. 名称 名称は, 日本生物学的精神医学会国際学会発表奨励賞とする。
3. 対象 原則として応募時年齢 35 歳未満の会員で, 国際学会に参加し, 将来性のある優れた研究を発表する者に贈られる。対象となる学会および発表される研究内容については選考委員会が評価を行う。
4. 表彰 研究奨励賞は賞状および副賞とし, 副賞は 15 万円とする。
5. 募集 募集は年 2 回行う。前期は当該年度 4 月から 9 月の間に, 後期は当該年度 10 月から 3 月の間に開催される国際学会に参加する者を対象とする。

平成 23 年度も日本生物学的精神医学会では, 韓国, 台湾, 香港の生物学的精神医学会に参加して研究発表をする若手研究者を公募いたします。会員におかれましては, 本プログラムの趣旨をご理解の上, 多数ご応募いただきますようご案内いたします。

趣旨:

日本生物学的精神医学会は, アジア地域における精神医学領域の研究の発展と交流を促進するために, 韓国, 台湾, 香港の生物学的精神医学会との間に平成 22 年に「若手交流プログラム」を締結しました。この取り決めに基づいて, 日本と韓国, 日本と台湾, 日本と香港の生物学的精神医学会は, それぞれの年次学術集会に若手研究者 2 名をお互いに招聘することになりました。

本年度の日本生物学的精神医学会には韓国、台湾、香港からそれぞれ二名の若手研究者が来日し、研究発表をすることになりますが、これに対応する形で、韓国、台湾、香港の生物学的精神医学会に参加して研究発表をするために若手研究者を派遣するものです。

応募資格：招請者は40歳以下の本学会員とする。
 応募方法：応募用紙に、履歴書、業績目録を添えて、日本生物学的精神医学会事務局若手交流プログラム委員長 (jsbp@asas.or.jp) あてに申し込む。

応募用紙は、既定のものはありませんので、氏名、所属、連絡先、派遣希望国（韓国、台湾、香港のいずれか）、応募の背景と理由（400字以内）にくわえて、発表の演題名（英文）とアブストラクト（300word以内）を記載してください。

応募締め切り：2011年5月31日

募集人員：韓国への派遣2名、台湾への派遣2名、香港への派遣2名の合計6名を公募する。

賞の内容：若手研究者は、韓国生物学的精神医学会、台湾生物学的精神医学会、あるいは、香港生物学的精神医学会の学術集会のいずれかに招聘され、研究成果を発表する。渡航・滞在費として各人1,000US\$の支給を受ける。

選考方法：会員からの公募を募り、国際交流委員会にて推薦し、理事会にて決定する。

選考結果：2010年6月30日までに本人あて通知する。

第33回日本生物学的精神医学会

テーマ：A decade for psychiatric disorders：

この10年を「こころの科学」の時代に

会期：2011年5月21日（土）・22日（日）

会場：ホテル グランパシフィック LE DAIBA
 （東京都港区台場）

会長：加藤進昌（昭和大学医学部精神医学教室）

特別講演：「計算論的神経科学、イメージング、BMIは精神医学に貢献できるか」
 川人光男（ATR脳情報通信総合研究所所長）

教育講演：「無意識的情報処理の脳内メカニズムについて」
 渡邊武郎（ボストン大学心理学部/神経科学センター）

会長講演：「生物学的精神医学を目指して40年

—発達障害との出会い—

加藤進昌（昭和大学医学部精神医学教室）

招待講演：Dr. Hakon Heimer（Schizophrenia Research Forum）

Dr. James M. Swanson（Univ California, Irvine）

参加費：会員 12,000円、非会員 14,000円、
 学生 5,000円

下記のプログラムもサテライト企画として行います。多数のご参加をお待ちしております。

会期：2011年5月20日（金）

会場：有明ワシントンホテル（東京都江東区有明）

*学生・研修医向け生物学的精神医学公開講座（無料）

「次世代研究者によるこころの発達と障害における分野横断的連携」

*若手研究者育成プログラム（無料）

研究を考えている方向け。分子生物学と脳画像の二分科会で行います。

スーパーバイザー：

神谷篤（Johns Hopkins University）

渡邊武郎（Boston University）

佐々木由香（Massachusetts General Hospital）

参加ご希望の方は学会ホームページ <http://www.k-con.co.jp/33jsbp.html> をご参照ください。

問合せ先：学会運営事務局

株式会社ケイコンベンション

TEL：03-5367-2382

E-mail：33jsbp@k-con.co.jp

「日本生物学的精神医学会（JSBP）会員増加キャンペーン」のお知らせ

日本生物学的精神医学会では、A Decade for Psychiatric Disorders（この十年を「心の科学」に時代に）を標語として会員増加キャンペーンを始めています。精神疾患の生物学的研究に関心をお持ちの方全てに学会への入会をお願いしています。

キャンペーンの内容は、新たに若手・学生会員枠を設けたこと、新入会員の初年度年会費無料を平成25年までの時限措置として設けたことです。入会に際して費用が発生することはありませんので、この機会に教室単位、研究室単位、グループ単位でご入会ください。

若手・学生会員（新設）

年会費 1 年間の免除。年会費は次年度から一般会員の半額（5000 円/年）

医師になってから 5 年以内の若手と，医学部・薬学部・理学部などの大学院生および学部学生を想定しています。

一般会員（平成 25 年までの時限措置）

年会費 1 年間の免除。年会費は次年から 10,000 円/年

会員の特典

学術集会での演題発表と学会機関紙への投稿，

機関誌・会員通信へのアクセス

学術集会への参加費割引

研究推進のための情報交換

World Federation of Societies of Biological Psychiatry (WFSBP) への入会資格

WFSBP Congress への参加費割引

学会のホームページから入会申し込みができます (<http://plaza.umin.ac.jp/~jsbp/>)。評議員の推薦状が必要ですので，詳しくは学会ホームページあるいは学会事務所にご連絡ください。